

スーパーグローバル大学創成支援事業 事後評価結果の総括

令和 7 年 3 月 1 9 日
スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会

スーパーグローバル大学創成支援事業において、平成 26 年度に採択した 37 大学の、令和 5 年度末までの取組状況について、5 段階評価（S～D）により、事後評価を実施した。

事後評価結果は、S 評価（「優れた取組状況で事業目的が十分に達成され、今後も持続的な発展が確実に期待できる」）が 6 件（全体のうち 16%）、A 評価（「十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる」）が 25 件（同 68%）、B 評価（「事業目的はある程度達成されているが、今後の発展のためには努力が必要と判断される」）が 6 件（同 16%）であった。

10 年間（平成 26 年度～令和 5 年度）に及ぶ事業期間で約 483 億円の規模にて事業展開が行われたことにより、採択大学において当初の構想が着実に推進されただけでなく、「大学の国際化促進フォーラム」や「JV-Campus」等成果の横展開を目的とした取組の推進等により、本補助事業の採択校以外にも波及効果が見られ、我が国の大学の国際化を牽引したと言える。

事業期間終盤においては、新型コロナウイルス感染症（以下、「COVID-19」という）のパンデミックによる社会情勢により、特に日本人学生の送り出しや外国人留学生の受入れに関連する取組に影響を受け、一時停滞・減少傾向が見られたが、事業最終年度の令和 5 年度においては、各大学の努力により、COVID-19 の影響を受ける前年度と同等の水準まで回復している。

本事業の採択大学においては、令和 5 年度の大学における外国人留学生の受入れの 40%超、日本人学生の海外への送り出しの 30%超を占めるなど、留学モビリティの拡大を牽引している。したがって、補助事業期間は終了したが、引き続きこれまでの実践により得られた優れた取組や成果を国内外に対し情報発信し、我が国の高等教育の国際的な競争力の強化、ひいては我が国全体の国際化を牽引していただきたい。

今後は、令和 7 年 2 月 21 日開催の中央教育審議会「我が国の「知の総和」向上の未来像 ～高等教育システムの再構築～（答申）」にも触れられており、教育研究の「質」の向上を図ることが求められている。特に、大学の国際化に関しては、国内外で日本人学生と外国人留学生による「多文化共修」のための環境整備や海外との大学間連携等の強化が不可欠とされており、37 大学と始めとする我が国の全ての大学が本事業の知見と経験・成果を生かしていくことを期待する。

**スーパーグローバル大学創成支援事業
令和6年度 事後評価結果一覧**

【タイプA(トップ型)】

大学名	設置区分	総括評価	評語	参考)これまでの評価結果	
				H29年度 中間評価結果	R2年度 中間評価結果
北海道大学	国立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。	A	A
東北大学	国立	S	優れた取組状況で事業目的が十分に達成され、今後も持続的な発展が確実に期待できる。	A	S
筑波大学	国立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。	S	A
東京大学	国立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。	A	A
東京医科歯科大学	国立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。	A	A
東京工業大学	国立	B	事業目的はある程度達成されているが、今後の発展のためには努力が必要と判断される。	A	A
名古屋大学	国立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。	S	S
京都大学	国立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。	A	B
大阪大学	国立	B	事業目的はある程度達成されているが、今後の発展のためには努力が必要と判断される。	A	A
広島大学	国立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。	A	A
九州大学	国立	B	事業目的はある程度達成されているが、今後の発展のためには努力が必要と判断される。	B	B
慶應義塾大学	私立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。	A	A
早稲田大学	私立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。	A	A

(参考)総括評価の基準

評価	評語
S	優れた取組状況で事業目的が十分に達成され、今後も持続的な発展が確実に期待できる。
A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
B	事業目的はある程度達成されているが、今後の発展のためには努力が必要と判断される。
C	事業目的があまり達成されておらず、今後の発展のためにはより一層の努力が必要と判断される。
D	事業目的がほとんど達成されておらず、これまでの取組について再考慮が必要と判断される。

【タイプB(グローバル化牽引型)】

大学名	設置区分	総括評価	評語
千葉大学	国立	S	優れた取組状況で事業目的が十分に達成され、今後も持続的な発展が確実に期待できる。
東京外国語大学	国立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
東京芸術大学	国立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
長岡技術科学大学	国立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
金沢大学	国立	B	事業目的はある程度達成されているが、今後の発展のためには努力が必要と判断される。
豊橋技術科学大学	国立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
京都工芸繊維大学	国立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
奈良先端科学技術大学院大学	国立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
岡山大学	国立	B	事業目的はある程度達成されているが、今後の発展のためには努力が必要と判断される。
熊本大学	国立	B	事業目的はある程度達成されているが、今後の発展のためには努力が必要と判断される。
国際教養大学	公立	S	優れた取組状況で事業目的が十分に達成され、今後も持続的な発展が確実に期待できる。
会津大学	公立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
国際基督教大学	私立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
芝浦工業大学	私立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
上智大学	私立	S	優れた取組状況で事業目的が十分に達成され、今後も持続的な発展が確実に期待できる。
東洋大学	私立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
法政大学	私立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
明治大学	私立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
立教大学	私立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
創価大学	私立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
国際大学	私立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
立命館大学	私立	S	優れた取組状況で事業目的が十分に達成され、今後も持続的な発展が確実に期待できる。
関西学院大学	私立	A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
立命館アジア太平洋大学	私立	S	優れた取組状況で事業目的が十分に達成され、今後も持続的な発展が確実に期待できる。

参考)これまでの評価結果	
H29年度 中間評価結果	R2年度 中間評価結果
A	A
A	A
A	A
A	A
A	A
S	A
A	A
A	A
A	A
B	B
A	S
B	B
S	S
A	S
S	S
A	A
B	A
B	A
B	A
S	S
A	A
A	A
A	A
A	S

(参考)総括評価の基準

評価	評語
S	優れた取組状況で事業目的が十分に達成され、今後も持続的な発展が確実に期待できる。
A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
B	事業目的はある程度達成されているが、今後の発展のためには努力が必要と判断される。
C	事業目的があまり達成されておらず、今後の発展のためにはより一層の努力が必要と判断される。
D	事業目的がほとんど達成されておらず、これまでの取組について再考慮が必要と判断される。